

祝 本日、記念式典

90th Anniversary

SINCE 1924



次の10年、100周年に向かって

MITOYA
島根三刀屋
県立高校
蒼雲
学校だより
第88号

社会に立たん 健やかに



校長 恩田 佳雄

「三刀屋の川の水清く」
「城山松のすくすくと」と
旧制中学の校歌にも歌われ
ている恵まれた自然の中
歴史を積み重ねた島根県立
三刀屋高等学校は、本日、
九十周年記念式典を挙行す
る運びとなりました。

本校は大正一三年四月に
島根県立三刀屋中学校とし
て開校して以来、「誠実・
剛健・礼儀・規律・勤労・
勉勵」の校訓のもと一万六
千有余名の卒業生を世に送
り出して来ました。

今日を迎えるまでの道の
りは、決して平坦なもの
ではなく、時に曲折と苦難に
満ちたものでした。昭和初
期には農村での不況による
生徒募集難や中学校から農
林学校への組織変更が県議
会で審議されるといふ学校
存廢の危機を経験しました。
また、太平洋戦争が始まる
と、いわゆる「学徒出陣」
が始まり、本校からも多数
の生徒が少年志願兵として
出陣し、教職員も戦場へ赴
き、多数の方が戦死されま
した。安来や名古屋への工
場動員も行われ、事故や空
襲で殉職された生徒、教職
員もいました。食糧確保の
ため校庭が農園になり、校
舎を取り壊し、工場にしよ
うとする計画も立てられ、
実際に一部が取り壊され
ました。

このような戦時中の苦難
や悲劇を経て、戦後の教育
制度改革によって、三刀屋
中学校は昭和二三年四月に
島根県立三刀屋高等学校と
改称され、新たな第一歩を

踏み出し、今日に至って
います。

今年には創立九十周年に当
たる年でありますが、同時
に総合学科十周年の節目の
年でもあります。本校の普
通科は平成一六年四月にか
ら総合学科に改編され、現
在の総合学科棟もその翌年
に竣工しています。

三刀屋高校の総合学科を
一言で言えば、普通科の内
容に加えて、体系的なキャ
リア教育を行う学科である
と言えます。一年生四月に
は二泊三日のフレッシュマ
ンセミナーを行い、その中
で「仕事調べ」を行います。
十月には三日間の「事業所
インターンシップ」を行いま
す。十一月には一年生全
員で広島大学へ行き、大学
で学ぶことについて理解を
深める「アカデミックイン
ターンシップ」を行います。
このように一年次には毎日
の座学に加えて「仕事調べ」
「事業所インターンシップ」
「アカデミックインターン
シップ」などのキャリア教
育を土台に、二年次の「文
系・理系選択」や幅広い選
択科目の中から自分で科目
を選ぶ「科目選択」を行いま
す。

二年生十月には東京へ研
修旅行を行い、企業、官公
庁、大学等を訪問し、仕事

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

や上級学校について
理解を深めます。ま
た、二年生の後半か
ら三年生の前半にか
けて興味を持ったテ
マを自分で選び、調
査・研究、発表を行
う「課題研究」を行
います。今年のテーマの中
には「裁判員制度を身近に
するためにはどうすれば良
いか」や「雲南市の中高生
の本離れについて」など、
いづれも現代の様々な問題
を高校生の視点で調査・研
究しようとする意欲的なテ
マが数多くあります。

記念公演

演題 「島根は最先端
ふる里を誇りに映画を撮る」

講師 錦織 良成氏
(映画監督、脚本家)

校歌の二番には「社会に
立たん、健やかに」と歌わ
れています。これからも総
合学科の特色を生かし、
「現在学んでいること」と
「将来の仕事や上級学校」
を結びつけ、キャリア教育
の充実を図り、社会に貢献
する人材の育成に努めてい
きます。

生徒の皆さん、この九十
年の歴史と伝統を誇る三刀
屋高校の総合学科でしか
り学び、社会に貢献する志
を持って三刀屋高校を巣立っ
ていこうではありませんか。

雲南豆

セレンディピティを磨いて
体現する「幸運なんです」
10月はノーベル賞の受賞
者発表シーズン。毎年この
時期を迎えるとニュース解
説等で「セレンディピティ」
なる言葉が紹介される。「偶然に、思
いがけない発見をする能力」という意
味で、セイロン(現スリランカ)の3人
の王子にこの能力があったという寓話
が語源のようだ▼10年前にノーベル化
学賞を受賞した田中耕一さんの研究成
果も、誤ってコバルトの粉末とグリセ
リンを混ぜた失敗から導かれたもので、
典型的な「失敗は成功のもと」とい
うお話のようなのだが、この格言と「セレン
ディピティ」とはニュアンスが違う▼
探しても見つからないという場合、こ
の辺りには探さずだといふ場所しか実
際には探していないことが多い。しか
し、科学の世界では探している場所
で、探していたものとは違う予期せぬもの
を偶然に発見することも多い。アルキ
メデス、ニュートン、ノーベル皆然り。
田中耕一さんの受賞研究も「失敗は成
功のもと」と言うよりは、ある意味偶
然が生んだものと言える▼ただ、貴重
な偶然に遭遇しても、その場を素通り
してしまうケースも多いことだろう。
探していたわけでもないモノを発見す
るのは案外難しいような気がする▼何
を探しているのか分からない日常生活
の中で、貴重な偶然を前にして素通り
するか、貴重な偶然をきっかけに自分
の人生を豊かにできるか、確かにそれ
は一つの能力と言っても良いだろう▼
総合学科でさまざまな学習場面で準備
されようとも、自己実現のための貴重
なきっかけを主体的に発見、つかまな
ければもったいない。地域産
業研究を深める三高の秋は、
そのチャンスに恵まれている
はずだ。きっかけを掴むア
ンテナを磨いて体現しよう、
「幸運なんです」を。

(編集長記)

や上級学校について
理解を深めます。ま
た、二年生の後半か
ら三年生の前半にか
けて興味を持ったテ
マを自分で選び、調
査・研究、発表を行
う「課題研究」を行
います。今年のテーマの中
には「裁判員制度を身近に
するためにはどうすれば良
いか」や「雲南市の中高生
の本離れについて」など、
いづれも現代の様々な問題
を高校生の視点で調査・研
究しようとする意欲的なテ
マが数多くあります。

アドレナニン全開沸騰中

つやま祭

「Golden Memories 愉快活発」～胸にきざめ 90年目の轍～



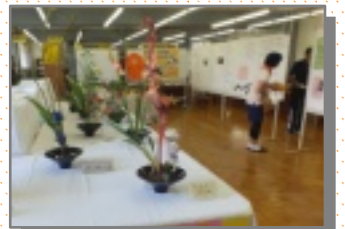
まばゆい班長の顔、顔、顔、顔、顔

8/29 (金) 文化祭
8/30 (土) 文化祭
8/31 (日) 体育祭

土日開催で来場者数は過去最高?!



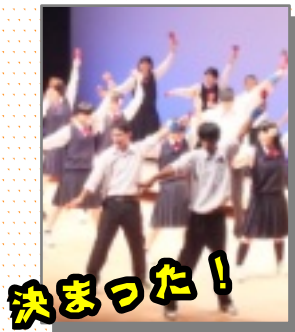
↑2年クラス催し物では、廊下に入場待ちの行列ができるほど。



↑図書館では90年の校史を振り返る各種展示。華道部の作品展示も。



→ 箏曲部の演奏をバックに



決まった!

1年ステージ発表

娘がコワイ!

肉食



ご支援ありがとうございました

(少なくとも学校五日制になってからは)



kotonoha ライブ

MOE & YUKA

魅せた!!

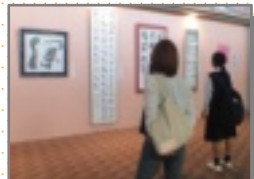
PTA = PTA = PTA =



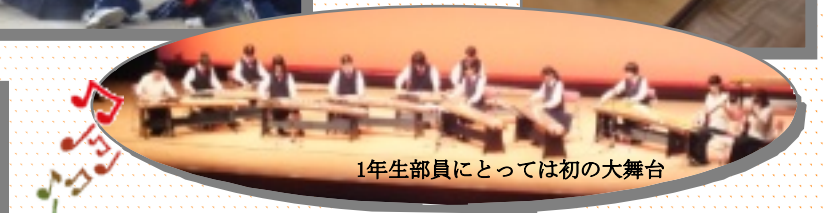
PTA 模擬店

看板娘

ありがとうございました。



↑アスバルのロビーでは文化祭の展示も。



1年生部員にとっては初の大舞台



↑文化祭に不可欠の吹奏楽部

↑熱い視線を感じたピンカレディー?の面々

3 学校創立の1924(大正13)年度はこんな年

▼開校直前の郷土

第一次世界大戦が勃発した2年後の1916年に民営の篠上鉄道(現木次線)宍道～木次間が営業を開始。



第1回国勢調査が実施された1920年の島根県の人口は2010年調査とほぼ同じ714,712人だった。直後、従来からの安価な鉄鉱石の輸入に戦後恐慌が追い打ちとなって島根県からも「たたら」の灯が消えていった。

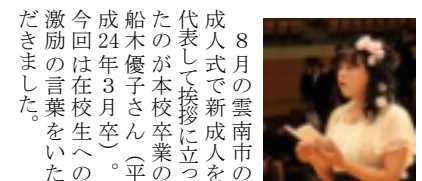
▼開校の1924年度(大正13年度)の日本

- 前年9月の関東大震災からの復興がすすむ
- 4月 大阪に市内1円均一タクシー「円タク」登場
- 5月 第8回パリ五輪の三段跳で織田幹雄が6位入賞
- 6月 加藤高明護憲三派連立内閣成立
(内務大臣に松江市出身の若槻禮次郎)
築地小劇場が開場
- 7月 阪神甲子園球場完成(干支にちなんで命名)
- 8月 「国民新聞」が初の天気図を掲載
- 11月 社会主義国家モンゴル人民共和国誕生
京都山崎で初の国産ウィスキー製造を開始
- 1月 娯楽雑誌『キング』創刊
- 3月 ラジオ放送開始
- 普通選挙法成立(翌月に治安維持法成立)
- <流行語> アッパッパ、正ちゃん帽、行方不明
- <流行歌> 兎のダンス [作詞:野口雨情、作曲:中山晋平]
♪ ソソラ ソラ ソラ 兎のダンス

90周年記念式典に寄せて



→三高OBの恩田校長が作成した応援フラッグ



8月の雲南市の成人式で新成人を代表して挨拶に立ったのが本校卒業の船木優子さん(平成24年3月卒)。今回は在校生への激励の言葉をいただきました。

1 在校生へのエール——成人式を終えた三高卒業生から

私は現在、看護学校に通っています。高齢化社会の進展の中で、社会のニーズにあつた看護のあり方を学び、患者さんに寄り添い、患者さんの痛みを和らげることができると看護師を目指しています。

私が本格的に看護の道に進もうと考えたのは、高校に入学してからのことでした。私はとりわけ頭が良いというわけではないため、できることを頑張ろうと思ったり、提出物を期限内に提出したり、任された仕事に一生懸命に取り組んだり、自分なりに頑張っています。

そのことが、今の自分を作っているのではないかと思います。今、目の前にある何かに、自分なりに一生懸命取り組むことが、自分の財産になると思います。

少しずつ努力して、焦らず、自分の進路に向かっていって下さい。
(船木優子)

2 記念館「蒼雲館」をご覧ください

昭和40年代中期の校舎改築の際に唯一残した旧木造校舎が玄關前の「記念館」です。元は図書館でした。現在の内部は改装され、入って左手の和室「三楽庵」は茶道部の茶室として利用されています。

そして、右手の広い空間が同窓会の皆様によって整備された「蒼雲館」で、本校90年の歩みを伝える品々が保管されています。

普段は来館者もほとんどない「蒼雲館」ですが、8月の

学園祭期間中は開館し、卒業生や地域の皆様にもご覧いただけます。入館希望の皆様は事前に高校へご連絡ください。



↑蒼雲館入口



→赤ちゃん連れの若いご夫婦が思い出の写真に見える姿もあった学園祭期間中。



↑昔の教科書や新聞記事の展示も多数



↑記念館左側の「三楽庵」



↑ひときわ目を引く野球部の「甲子園出場」に関するコーナー

PTA 交通安全街頭指導

9/15〜22

各地区の朝の街頭指導でお世話になりました。期間中、京都府では高校生の自転車が高齢者と衝突して死亡させるという痛ましい事故がありました。全国では島根県の人口よりも多い年間78万人が交通事故で死傷されている悲惨な状況です(昨年)。他人事ではなく、日々みんなで交通安全に関する意識を高めたものです。

PTA環境美化ボランティア活動

記念式典の前に除草作業をしていただきました



本日の90周年記念式典の前に、先月21日(日)にはPTA環境ボランティア活動でお世話になりました。

当日は保護者の皆様48名に生徒・教職員も加わって約百名が2時間ほど校舎周辺の除草作業に汗を流し、普段は手の届かないところまで綺麗にしてくださいました。ありがとうございました

長崎がんばらんば国体



和田翔さん (3年)



バスケットボール

少年男子は 10月18日～

今年開催の第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体2014」に、和田翔さん(3年)がバスケットボール少年男子の島根県選抜チームの一員として参加する。一昨日に県庁で行われた結団式にも参加した。

今年の県総体を制した松江西高の6選手、準優勝の松江東高の4選手とともに選抜されたもので、先月中

旬には中国各県の選抜チームとのテストマッチ強化合宿(広島市)にも参加した。まずは初戦突破を狙う。三高と島根の代表として、前生徒会長の快調なプレーを期待したい。

長崎国体「がんばくん」



吹奏楽

高文連音楽コンクール (9/10、島根県民会館)

▽木管楽器の部
銀賞 川本明夢(3年) (フルート)

▽金管楽器の部
銀賞 小林蓮望(3年) (チューバ)
銀賞 小野朱里奈(1年) (トランペット)

今後の出演予定

地域イベントで多忙な秋です

▽第10回ななかまどフェスタ 10/26
吉田交流センター周辺

▽第34回みとやっこまつり 10/26
文化体育館アスパル ※箏曲部も出演予定

▽中野地区文化祭(仮称) 11/16、17
三刀屋町中野地区



今年度の三高応援幕

恩田校長の発案

演劇

出雲・石見地区大会 (9/19、ラ・メール)

県大会出場へ

加茂町のラ・メールで開かれた表記地区大会には6校が参加し、創作劇『羽と心臓と鎧』(2年武内万寿作)を演じた三刀屋高校は、11月上旬に松江市で開催される県大会への出場権を得た。

ソフトボール

県高校選手権 (9/13~14、出雲商業高校)

▽女子
全試合圧勝のゴールド勝ち

▽予選トーナメント2回戦
三刀屋②・0松江商業 (5回コールド)

野球

秋季出雲地区大会 (8/23~24、三刀屋高校他)

▽予選リーグ
三刀屋⑩・1出雲西
三刀屋⑥・3出雲農林

▽決勝トーナメント準決勝
三刀屋3・3大東 (抽選により大東が決勝に進出し優勝)

秋季中国大会県予選 (9/13、益田市民球場)

▽一次予選2回戦
三刀屋0・②益田東

卓球

県高校選手権 (9/12~14、金城町総合体育館)

▽男子
単複ともに一回戦敗退

▽女子
シングルス
2回戦進出 柿木紗雪(2年)
3回戦進出 高花菜摘(2年)
ダブルス
2回戦進出 高花菜摘(2年)
2回戦進出 佐々木優(2年)

華道

お免状を取得!

外部講師の安部治美先生(池坊)のご指導の下で稽古を続けてきた華道部の3年生部員が、晴れて初伝のお免状を取得した(写真、現在もう一人も申請中)。初伝とは、家元から最初にいただくお免状(免許状)で、日々の稽古の頑張りや先生が判断され、上達の度合いに応じて昇格することができる。取得したお免状は資格として、履歴書に記載することもできる。

文化祭での作品展示(写真)も好評だったが、本日の記念式典の来賓受付や控室にも部員が飾られた作品が飾られており、目を向けてもらいたい。



お免状を手にする3年生部員と講師の安部先生。

陸上

県高校新人陸上 (9/20~21、益田市)

▽男子円盤投げ
勝葉航平(2年) 6位
28 m 33

▽1年男子百米
山田 幹(1年) 12秒13
準決勝進出

ソフトテニス

県高校選手権 (9/20~21、浜山公園)

▽男子
2回戦進出

▽女子
梅木大喜(2年)・小池祐介(2年) ペア

▽ベスト32
森山 葉(2年)・北川真実(2年) ペア

一般強化指定校に

16年全国高校総体に向け

県教育委員会は先月、2年後に中国ブロックで開催される全国高校総体(インターハイ)に向けた選手強化策として「一般強化指定校」を新設し、県外遠征費を補助することを発表した。11校12競技が選ばれ、本校の女子ソフトボール部も指定された。男子ソフトボール部は従来からの「重点強化指定校」が継続する。

自分を作る楽校

三瓶で宿泊研修

一学期後半から毎月続く「自分をつくる楽校」の8月は台風の影響で中止となったが、9月は20日、21日の両日、国立三瓶青少年交流の家で宿泊研修を実施した。今回は本校生9名を含む19名の高校生が、都会地の若手社会人グループ「アラーレ」の21名の支援を受けながら、ワークショップで自分の将来像を描いた。

後期生徒会役員選挙

(9/16、信任投票)

〈当選〉
会長 上田航平(2年)
議長 奥井大勢(2年)

自分を作る楽校

三瓶で宿泊研修

一学期後半から毎月続く「自分をつくる楽校」の8月は台風の影響で中止となったが、9月は20日、21日の両日、国立三瓶青少年交流の家で宿泊研修を実施した。今回は本校生9名を含む19名の高校生が、都会地の若手社会人グループ「アラーレ」の21名の支援を受けながら、ワークショップで自分の将来像を描いた。

日	曜	学校行事等	部活等
1	水	10/4の振替休業日 学校開放 大学入試センター試験出願開始	
2	木	中間試験3日目	
3	金	中間試験4日目 記念式典準備	
4	土	創立90周年記念式典	
5	日		
6	月		
7	火	高校生の心の健康に関する講演会(1・2年、保護者)	
8	水		
9	木		
10	金	第2回英検	
11	土	3年全統記述模試	
12	日		
13	月	体育の日 2年研修旅行	
14	火		
15	水		
16	木	1年地域産業研究実習(インターンシップ)	
17	金	3年進駿記述模試 2年生代休日 閉寮	写真
18	土	3年進駿記述模試	
19	日	開寮	
20	月	学習時間調査(~26) 下校パトロール(~11/8) 1年地域産業研究振り返り	
21	火		
22	水		
23	木		書道
24	金	第2回漢検	ソフトテニス 美術
25	土	3年クラブ模試、桐原小論模試	カバドリー
26	日	3年全統記述模試 学校開放	柔道
27	月		
28	火	球技大会	
29	水	生徒総会 S.C来校日	
30	木		
31	金	3年進駿M模試	箏曲
1	土	しまね教育の日	サッカー 陸上
2	日		剣道
3	月	文化の日	
4	火	人権・同和教育LHR	
5	水	雲南地区高体連体育大会	
6	木		卓球
7	金		バスケットボール
8	土	1年「授業『大学』」 2年課題研究中間発表	サッカー
9	日	英検2次 3年代別シカゴ・ブレ	
10	月	11月8日の振替休業日 PTAキャンパスツアー(生徒も可)	



1年	事業所インターンシップ(地域産業研究 実習) アガリミツインターンシップ(広島大学訪問) ライフプラン作成
2年	班別自主研修(東京方面、大学・企業等訪問) 課題研究(ポスターセッション) 課題研究(テーマ別キーワード調べ)
3年	課題研究(テーマ別小論文作成、プレゼンテーション)

今年度の三刀屋高校総合学科のキャリア教育(一部)

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

雲南市と三高総合学科の秋は…

地域の全面協力を支えに
夢発見のきっかけ作りの季節

平成16年に総合学科1期生を迎えて三刀屋高校のキャリア教育の実践がスタートしましたが、同年11月に誕生した新制雲南市でも翌年からキャリア教育の取り組みが始まりました。平成21年度からは市内すべての小中学校で、24年度からは保育所・幼稚園も含んで「夢発見プログラム」が展開されています。子どもたちがふる里に誇りを持ち、積極的に社会に参画していこうとする「意欲」「能力」「態度」を発達段階に応じて身につけ、「社会を生き抜く力」を育てることを狙いとしており、高校入学以前のそうした取り組みを前提に本校総合学科のキャリアプログラムも試行錯誤を重ねながら構築しています。平成21年度から雲南市内各中学校の3年生が職場体験学習(夢発見ウィーク)を行っています。三刀屋高校1年次の「地域産業研究」実習

(事業所インターンシップ)では、事前に市内の各業種別の強み弱みや課題等を調査した上で実習にのぞんでいます。中学時代と同じ職場体験だけでなく、6月から行ってきた調べ学習をもとに課題意識を持った上で実習に臨み、「地域産業研究」を一層深めようとしています。

いずれにしても、地域の皆様の全面協力があって可能となる取り組みであり、地域全体で支えていただいていることに深く感謝申し上げます。(雲南市の取り組みについては、市報『雲南』9月号の巻頭特集「若者がチャレンジするまち」を参照ください。)

島根を愛しふるさとに誇りを持つ子どもたちを育むために
くしまね教育の日を定める条例 第1条より>

「しまね教育の日」関連行事(三刀屋高校編)

平成14年に「しまね教育の日を定める条例」が制定され、11月1日を「しまね教育の日」あわせて7日までを「しまね教育ウィーク」と定められました。本校ではその期間の前後、今年には次のような取り組みを予定しております。

- 7** 1年保護者ガイダンス 11/21
- 6** クラス発表会(1年) 11/19、26
- 5** 広島大学訪問(1年アカデミックインターンシップ) 11/11
- 4** PTAキャンパスツアー(岡山方面) 11/10
- 3** 人権・同和教育LHR公開授業 11/4
小中学校の先生方にもご案内します。

- 1** 高大接続教育(1年)授業「大学」
島根大学の学生約30名を講師とするグループディスカッションを通じ、大学での学びについて、自分の将来について考えを深めます。
- 2** 課題研究中間発表(2年ポスターセッション)
東京での班別自主研修の課題テーマについての考察をポスターにまとめ発表します。(午後の発表会は保護者・地域の皆様にもご案内します。)
※以上が8日実施分

11月8日(土)は
三高「教育フェスタ」

めざせ世界遺産登録 ～たたら製鉄(鉄穴流し)関連遺産と里山景観～

鉄穴流しが遺した里山の景観

→赤いピン位置は、現在の松江自動車道の駅「たたらば壱番地」付近。写真は開通前の平成20年頃の空撮。



雲南市吉田町中心部 中学

NEWS

たたら製鉄と田部家を紹介する「鉄山師の町歴史館」が吉田町に9月13日オープンしました！

『たたら侍(仮称)』を勝手に応援するシリーズ

斐伊川今昔物語 第4回 里山に残る「鉄穴残丘」

松江自動車道沿いの雲南市吉田町の道駅「たたらば壱番地」が大賑わいだ。その名の通り、吉田町はたたら製鉄が盛んだった地であり、町内の「菅谷高殿(すがやたかどの)」は全国で唯一の常設屋内炉施設を残している。旧制三刀屋中学が開校する直前の大正10年に操業を終え、以来90年を経て傷みが激しくなったため、昨年からは解体修繕工事を続け、来月には工事が終わる。吉田町内でも原料砂鉄を採取するための鉄穴流しの痕跡が各所で見られるが、道の駅「たたらば壱番地」

付近もそうだ。「鉄穴残丘(以下、残丘)」と呼ばれる小山が点在し、残丘の間に棚田が広がる景観が美しい(写真円内)。残丘とは、「固くて流せなかつた所が突起状の小山として残った場所」と説明されてきたが、その残丘には墓が多い。利用に困って墓地に利用したと考えられるが、流せないほど固い場所に大きな穴を掘って土葬するのは難儀なことである。現在では、「固くて流せなかつた場所のほか、もともと墓や祠等があった大切な場所を残した神聖な場所」と紹介される。比較的小さな残丘の多くは後者の例で、地図中に茶色で示した鉄穴流しの跡地で散見でき、それは雲南地域だけでなく安来市比田地区や鳥取

県日野郡、広島県北部等のたたら製鉄が盛んだった各所で見ることが出来る。周囲の地形とは明らかに違う陸の孤島の姿が特徴だ。墓や祠を残した小さな残丘は、左最下段の写真のように素人でも確認しやすい。

鉄穴流しの跡地利用

鉄穴流しは一面凄まじい環境破壊だったが、鉄穴流しによる土砂の流出・堆積はそのまま耕地形成にも利用され、中国地方の中山間地の盆地や下流平野部の耕地形成につながった例が多い。「天井川」の形成だけが鉄穴流しが遺した景観ではないのだ。石見地方で顕著な例としては邑南町の矢上盆地(写真)が知られる。元来は起伏にとんだ地形が、鉄穴流しによってその8

割が平坦地となつて耕地化した。通常の鉱山開発は自然破壊となつたが、鉄穴流しは結果的に跡地を耕地(棚田)として再開発した稀有な例であり、世界に誇る自然リサイクル例と言える。お隣の奥出雲町が申請した「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観」は、今年の3月に正式に国の重要文化的景観に選定された。鉄穴流しが遺した何気ない古里の里山景観を誇りたい。そして二市一町による鉄の道文化圏が今一度脚光を浴びる時だ。錦織良成監督の映画『たたら侍』の制作に各市町が結束して支援を固めたように、古里の里山景観に共通の遺産価値を認め、さらには県境を越えた市町村の今後の取り組みにも期待したい。

↓実際には地図中に示した地域以外でも鉄穴流しが行われたと推測される(雲南市北部や松江市宍道町にも鉄穴残丘あり)。

鉄穴流し跡地
主に鉄穴流しの影響により土砂が堆積した土地

出典:「斐伊川水系の流域及び河川の概要」(平成21年、国土交通省河川局)に加筆して作成。



里山を彩る鉄穴残丘

鉄穴流しが行われた中国山地沿いの中山間地には、緩斜面の棚田の中にくつもの小島や鎮守の森が浮かぶような景観が点在する。これが鉄穴残丘だ。



↑出雲地方だけではない。矢棚上盆地も鉄穴流しが作り、田と残丘のコントラストが美しい。



↑奥出雲町南隣の広島県庄原市三河内地区の列島状の残丘。



↑鉄の神様を祀る全国の「金屋子神社」の本社が鎮座する安来市西比田地区の鉄穴残丘と棚田。



↑横田高校のある奥出雲町稲原地区も残丘が多い。



↑飯南高校のある飯南町野萱から小田地区にかけても鉄穴残丘を確認しやすい。

